

だんだん



スタート2008

1月2日(水)、第29回十日町新雪ジョギングマラソン大会(新座地区体育協会主催/十日町中学校発着)スタートの瞬間です。今年は子どもからお年寄りまで約400人が参加。田口市長の号砲で、2008年の幕開けを走って祝いました。〈優勝者〉▼3km男子：高橋一生・女子：長谷川友美 ▼5km男子：野沢俊・女子：佐野実和子 ▼10km男子：村田和政・女子：荒井佳子 ▼ハーフマラソン男子：丸山潤一郎・女子：高村まゆみ ※敬称略

主な内容

- 市長年頭のあいさつ／子年生まれの人に聞きました 2-5
- 【特集】対話のまちづくり「まち・むらトーク」..... 6-9
- 地域協議会紹介⑦／表彰おめでとうございます 10-11
- 高速情報通信基盤整備事業市民説明会の結果 12-13
- 第57回全国高等学校スキー大会① 14-15
- 農業元気センター紹介 16-17
- 地域の風～支所からのたより～ 18-19
- ときめきネットワークほか 20-21
- 後期高齢者医療制度⑥ 22-23
- まちの話題 TOPIC／原油高騰に伴う助成制度 24-25
- お知らせ・ガイド 26-27
- ジュニア芸術祭—浦田小学校— 28



数 藤 栄 一さん
昭和11年生まれ
(沖立)

日
日
青
春

「人は歳を重ねただけで老いるのではなく、目標を失ったとき初めて老いがくる」と言われています。私の心のよりどころは、趣味のそば打ちです。わが家にホームステイに来る外国人といっしょにそば打ちをしています。日本の食文化を体験してもらうのを楽しみにしています。英会話教室にも参加していて、教室を出たとたんに忘れるありさまでなかなか上達しませんが、人との出会いを大切にしています。また、健康管理のために、近くのプールで毎日1km泳いでいます。どれも道半ばですが、気持ちだけは青春で、いつまでも継続していきたいものです。



樋 口 幸 江さん
昭和35年生まれ
(朴木沢)

感
謝

夫が独立して、地元にお店を出させてもらって4年になります。私も微力ながら手伝っています。すばらしいスタッフに恵まれ楽しく仕事をしていますが、それにもましてご近所の人たちには、とても親切にしてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。毎日毎日近所の人々がだれか顔を出してくださり、話に花が咲いて時間を忘れることもしばしばあります。

人と人とのつながりの大切さ、温かさを身にしみて感じています。そんな人たちに感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。



高 橋 胡 桃 さん
平成8年生まれ
(天水島)

体
力

運動が好きなので、もっと体力をつけたいと思っています。私の周りにいる6年生5人はみんな体力があり、頑張りやさんです。運動をしている6年生の姿はすごくかっこいいです。私も、そんな6年生のようになりたいです。春は運動会、夏は水泳、秋になると駅伝大会や陸上大会、そして冬はスキーなど1年を通してたくさんのことがあります。小学校生活最後の1年は今よりも体力をつけ、もっともっと運動が好きになれるように頑張りたいです。そして、たくさんの人に運動が楽しいと感じてほしいと思います。



佐 藤 弘 祐さん
昭和59年生まれ
(室野)

楽
し
む

建具屋という職業に就いて3年目になりました。毎日怒られながら仕事をしていますが、それも修行のうち。一つ一つ身に付けたことを仕事に生かしながら、楽しんでやっています。親方のような職人に一日も早くなることを目標に、今年もまた新たなことに挑戦しながら頑張りたいと思います。趣味の音楽も少しずつですが、バンドとして活動できるようになりました。仕事以外でも楽しみが増え、良い刺激になっています。仕事と趣味を両立し、どちらも精一杯できる年にしたいです。



価値を磨く
2008
十日町市長 田 口 直 人

市民の皆さん、新年おめでとうございます。
最近、「不易流行」という言葉が気に入りました。「不易」は変わらないこと、「流行」は新しいこと、でもその根源は一つだということです。この言葉は、自治体経営にもあてはまると思っています。税や戸籍など比較的変わらない仕事と、地域振興など時代に合わせ変わり続ける仕事がありますが、どちらも「住民の福祉のため」という大切な仕事です。
国の財政再建や地域経済の低迷で、地方交付税や市税が減額し、厳しい財政運営を余儀なくされています。限られた財源で最大の効果を生むために、バランスに配慮しながら「高速情報通信基盤整備事業」「妻有焼の里づくり」「とおかまち体感ツーリズム」「創ろう！自分の田舎とおかまち」などに重点的に取り組みたいと考えています。
市内には、まだまだ隠れた資源がたくさんあると思います。埋もれたままでは輝きません。発掘し磨いて初めて価値が見えるでしょう。
「磨けば光る」。これを今年は座右に置いて、皆さんとともに歩みたいと思います。

2008年は 子 年生れの人に聞きました 私たちの年



今年の子年。十二支でいうと1番目の干支です。
市内では約5,000人が年男、年女にあたります。
それぞれの世代の子年生まれの皆さんに、今年にかける思いを一筆書いていただき、抱負などを聞きました。

福崎哲也さん 千恵子さん
昭和47年生まれ 昭和47年生まれ (伊達4)
青空さん 平成8年生まれ

千恵子さん：結婚した年から今年で一回り。初心に帰って、あのころの思いを振り返りながら、今の生活を大事にしていきたいと思っています。十日町に嫁いだからには、きものが着れるようになりたいので、今年こそは着付けを習いたいです。
青空さん：友だちと仲良く楽しく過ごしたり、英会話を習ったり、おしゃれをしたり、好きな芸能人の写真を集めたり：したいことはいっぱいあります。遊びも勉強も両立できるように頑張ります！
哲也さん：今年はダイエットをします！野球やバレーなどスポーツをしているのですが、やっぱり太っていると動きが悪くなります。いっしょにやっている若い人におじさん扱いされないように、昔の自分を取り戻したいですね。

安
穩
無
事
初
心
未
来

哲也さん 千恵子さん 青空さん



古澤房江さん・芳子さん
大正13年・昭和23年生まれ
(春日町2)

って前向きに生きていきたいですね。

芳子さん…小さいころからおけいごとで厳しかった母に、ときには反発したりしましたが、今になってみると、そのおかげで思いやりや支え、生きる力など「心」を学ぶことができた感謝しています。

これからも大好きな茶の道を楽しみながら、健康でいられる今日一日に感謝し、母と2人で趣味の花作りを楽しんでいけたら、と思っています。

温故知新

日々感謝

芳子さん



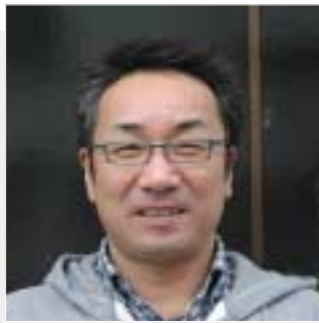
南雲正雄さん
大正13年生まれ
(本屋敷)

2人の子どもは東京へ行ってしまう、家内と2人で皆さんのお世話になって暮らしています。

老後を楽しく過ごす方法として、毎日の夕食前に我流の体操をしています。それから晩酌をします。お風呂から上がるとすぐ晩酌をしたくなるのですが、我慢して体操の後にしています。また、休肝日を週2日としています。

うれしかった思い出は、連休に孫が里帰りしたことです。いっしょに畑仕事をして、昼食のときには、「オジジのお手伝いをしたんだよ」と得意に話し、嫁さんにほめられ、はしゃいでいたことです。

笑顔で
努力



庭野建一さん
昭和35年生まれ
(本町6-3)

去年は長女が就職、長男は高校受験、次女が中学校入学と、子どもたちにとって新しいスタートの年になりました。今の生活をこれから良い方向に継続して欲しいと思います。中学校からやってきたサッカーも、プレーヤーとしては体力的にきびしくなったけど、クロアチアピッチの草取りとか、ボランティア活動を通じてこれからもずっとかかわっていききたいですね。今年の大きな目標は、家の改築かな。仕事の面では、人を信じ人からも信じられる「信用」「信頼」の1年を過ごしたいと思います。

信



星野秀美さん
昭和59年生まれ
(野口)

去年は私にとって、今までで一番充実した1年だったように思います。社会人になってたくさんの人と出会い、その人たちの笑顔のおかげで、私も笑顔で、前向きになることができました。今年は、私が周りの人たちを笑顔にさせられたらいいなと思います。

マリンスポーツやパラグライダーなどチャレンジしたいことは盛りだくさん。ねずみ年らしくちょこまか動いて、まだまだ知らないことにたくさん触れて、いろんなものを吸収していきたいです。

「笑顔と感謝」を忘れない年女を目指します！

笑顔
感謝



田辺修一さん
昭和23年生まれ
(松之山)

今年、還暦を迎えます。子どものころ、戦後で物の豊かでない時代に育ったせいか、「素朴」ということがとても好きです。素朴な物、味、心などに会おうと何となくほのぼのとして優しい気持ちになります。それで、今年は野山にある自然の物を利用して、民芸品のような素朴な味わいがする作品を作ってみたいです。その作品を通じて、多くの人たちとふれ合い、見た人に優しい気持ちと感動を与えられたい最高です。一日一日を大切に、無理をせず、素朴に生活をしていきたいと思っています。

素朴



相崎峰子さん
昭和47年生まれ
(沖立)

年女の今年を人生の一つの節目として考え、新たな自分探しをしてみたいと思っています。あらゆることにチャレンジしてみることで、それが自分への励みになると思います。まずは、毎週続けているエアロビクスで適度な運動。そして、調理師資格を生かしたバランスの良い食事。そうそう、夫のメタボ解消や家族の健康にも役立つかも。家庭菜園もいいな。自分で野菜を作って、自分で調理してなんて考えていると、楽しい1年になりそうです。

自分やがらしに
精神集チ



小林聖さん
平成8年生まれ
(北新田1)

去年は郡市陸上大会で、走り高跳び準優勝でした。今年も高跳びで頑張りたいですが、ハードルにも挑戦してみたいです。こつこつと何かを作ることが好きなので、今はドラゴンボールのジグソーパズル1000ピースを作成中。パズルを完成させたときの達成感は最高です。次は2000ピースに挑戦してみたいです。今年は小学校最後の年になるので、友だちと楽しく過ごして思い出をいっぱい作りたいと思います。旅行で沖縄にも行ってみたいなあ。

挑戦!!



関谷トシ子さん
昭和11年生まれ
(松代)

70代に入り、あつという間に一日が過ぎていきます。私は出歩くことが好きなので、ウォーキングやいろんなサークルに参加し、特にレクリエーションダンスは20年近く続けています。出合いや会話、笑いありで若い人たちからパワーをいただいて張り切っています。これからも、老け込まないためにも外へ出て楽しみたいですね。

健康

特集

対話のまちづくり

市民と市長の対話「まち・むらトーク」



自由トークで意見交換（松之山自然休養村センター）

平成19年度の「まち・むらトーク」が市内12か所で開催され、活発な意見交換が行われました。

市長など市の関係者が地域に出かけ、市民と直接対話するこの催しには全体で約1,200人が参加。道路や除雪など生活に密着したテーマや、産業や医療など地域全体の問題などについて、さまざまな角度から話し合いました。

「まち・むらトーク」は、地域協議会を基本に、市内全域を対象に行われました。全体で12か所（P11参照）となりました。

各会場では、おおむね次のような流れで実施されました。

- 1 市長トーク
これからのまちづくりの方向や市が取り組んでいる課題などについて、市長が考えを述べました。
- 2 テーマトーク
あらかじめ申し込んだ市民代表が、それぞれのテーマに沿って市長に質問・意見交換しました。
- 3 自由トーク
会場の参加者が自由に質問・意見を述べて、市長と意見交換しました。

市長トーク

各会場での市長トークの内容です。

1 まち・むらトーク開催趣旨

「まち・むらトーク」は、十日町市がこれからのまちづくりの基盤に据えた「自立と協働」の必要性・重要性について市民の皆さんとともに実行していくためのものです。

地域と行政が協働して、地域の要

望に応えていく力を養い、行動に移していくことを趣旨とするもの。「本質は現場にあり」という私の信念に基づくものです。

2、自立と協働（住民参加と協働のまちづくり）

地域の課題は地域の中で解決し、町内・集落などで支え続けていかなければなりません。

今後「小さな役所化」は当市だけに限らず進んでいきます。これまで行政が独占的に行ってきた公共サービスを、地域のさまざまな主体も提供していくという「協働型の社会」がこれからのまちづくりのベースとなっていくます。

なぜ今、まちづくりに住民参加や協働が求められているのか。

（1）暮らしを営む人々の合意なしに施策は進められない時代です。そのため、住民参画・行政との協働が必要となります。

（2）公共サービスに求められるものが多様化・高度化・複雑化しています。行政ができることの限界もあります。そのため、地震など災害時に生命財産を守る仕組みや安全・安心の地域づくりを進めるための地域力の再生・行政との協働が必要です。

（3）市では昨年3月、住民参加と

ちづくりなど、抜本的な対策に取り組んでほしい。

（市長コメント）

まちづくり3法の一つで、コンパクトな中心市街地づくりを国が支援する「改正中心市街地活性化法」が施行されて1年が経過しました。この法律に基づき、国から認定を受けた自治体は、現在全国で18市で、県内ではまだ1市もありません。取り組みが進まない理由としては、まちづくりの数値目標の設定が非常に難しく、ハードルが高いことだと言われています。市では、昨年来、まちづくり3法の改正への対応として十日町TMO協議会を中心に、勉強会や先進地の関係者による講演会を企画するなど、研究を続けています。中心市街地活性化基本計画策定の必要性は十分認識していますが、国の求めているハードルが非常に高い現段階でまとめることは、難しいものと考えます。中心市街地活性化協議会もきちんとしたまちづくりの方針を作ったうえで組織化することが必要であり、他市の状況も参考にしながら検討したいと思います。

商工会議所では、来年度まちづくり3法の検討委員会を立ち上げ、中心市街地のまちづくりについて再検討することになっていますので、行政もその中に入って検討させてもらい



協働を目指すまちづくりを総合計画の基本理念に据えて、地域の価値・魅力を磨き真の豊かさを目指すまちづくりの方向を定めました。

地域協議会は、地域運営の担い手として期待しています。できることから着実に、継続して取り組むことが重要だと考えています。協働のまちづくりに、ともに取り組みましょう。

3 十日町市のまちづくり

市の主要なプロジェクトについて、いくつかお話しします。

（1）ICT都市

とおかまちプロジェクト
高速情報通信基盤の整備を進める

ことで情報格差を解消し、すべての住民・事業者が情報通信技術（ICT）を活用でき、これまで以上の「産業振興」「安全・安心・便利なまちづくり」の実現を目指します。

（2）地域によりよい

医療環境の構築プロジェクト

よりよい地域医療環境の構築に向けて、地域中核病院としての十日町病院を核とし、松代病院や他の病院診療所などとの連携や役割分担などについて検討していきます。

（3）環境共生まちづくり

推進プロジェクト

ごみの減量化と分別徹底を市民・事業所に一層普及し、家庭などの生ごみの活用をはじめ、建築廃材や間伐材の再生利用など、将来に向けて資源の循環利用ができる仕組みづくりを進めていきます。

（4）とおかまち体感

ツーリズムプロジェクト

当市は雄大な自然や多様な人文資源・観光レクリエーション施設・アートの作品群などを有しています。積極的に誘客PRをして交流人口の増加などに取り組んでいきます。

（5）妻有焼の里づくりプロジェクト

テーマトークの内容

テーマトークの内容は多岐にわたり、地域固有の課題が多いことから、市全体に関係するものの中から代表的なものを紹介します。

1 中心市街地の活性化対策

（意見・質問）

都市と地方の格差に加えて、中越大震災の被害を受けた中心市街地の後遺症が尾を引いている。徒歩圏内に生活施設がそうこうコンパクトなま

たいと考えています。中心市街地の活性化には、最も関連がある十日町地域協議会の皆さんからも、かわつてもらいたいと思います。

市としては、中心市街地の再生に向け先頭に立って取り組んでいきたいと考えています。

2 新しい農政と中山間地農業（意見・質問）

①今年度から始まった品目横断的安定対策の支援を受けられない農業経営者に、どのように対応するのか。



地域の課題を話し合うテーマトーク（情報館）

②農業と観光の連携強化を。

（市長コメント）

①国は、戦後の農地解放に匹敵するといわれる農政改革を現在進めており、平成22年をその最終目標年度に定めています。改革の主たる目的は、足腰の強い農家及び法人などの生産組織の育成ととらえています。

しかし、中山間地域では、土地条件の厳しさなどから新制度に乗りにくい実態があることも理解しています。そうは言っても、担い手不足が切羽詰まった状況の中で、個人経営に限界がきている地区ならば、何らかの形で集団経営の道を探らなければならぬと思います。

現在、市では農業元気センターを中心に地域農業における担い手育成対策に取り組んでいます。新たな営農体制の構築を考えている集落や地区があれば、申し出てもらえれば職員が出向いてお手伝いをします。ぜひご利用ください。

②農業と観光の連携は以前から唱えられていますが、市では越後田舎体験事業で農家民宿や農作業体験が行われており、今後も継続して事業展開を図りたいと考えています。

里山の風景や人々の暮らし、あるいは棚田に代表される農業の営みが観光資源になっていることは全国各地で見受けられます。ご提案のように、当地域には磨けば光り、宝物となる資源がまだ数多く眠っていると思われまふ。それらの資源を組み合わせ、地域独自の魅力を高めることはとても有効だと思います。

その宝物を生かすも生かさなないも、地域住民の取り組む姿勢がまず重要。地域住民自らが発案し、研究し、実践していただくような態勢を整えていただくことを期待しています。市も、それらの地域活動に対し積極的に支援し、いっしょに進めていく所存です。

3 十日町病院の今後の見通し

（意見・質問）

十日町病院の改築、または移転の見通しを説明してほしい。

（市長コメント）

「病院の改築は何年後です」とはつきり申し上げられないのが現状です。十日町病院よりも大きい新発田病院の改築が、基本構想策定から開院まで約6年半かかっていますので、十日町病院もほぼ同じくらいかかるのではないかと思っています。

今、県と市で「十日町病院等の医療提供体制に関する協議会」を設けています。また、この会とは別に、医療・福祉関係者、地域住民の代表

者と行政関係者で構成する検討会も設けました。検討会からは、十日町市・中魚沼地域の医療の現状や人口の将来予測などに基づいた提言を、協議会にしてもらうことにしています。

これを踏まえて、協議会で「十日町病院と松代病院の医療提供体制についての基本構想（案）」を策定し、その後、市民の皆さんから意見ももらいながら正式な基本構想にしていくなことにしています。構想の策定は平成21年3月ころになる予定です。が、少しでも早めるよう努力します。

また県は、十日町病院と魚沼基幹病院は、診療科や医師の関係などの面からも整合性を図る必要があるとして、2つの病院の整備を並行して進める考えです。

いずれにしても、十日町病院の改築が一日も早く実現できるよう、県との協議を進めてまいります。

そのほかのテーマや詳しい内容については、市のホームページに掲載してありますので、ご覧ください。
<http://www.city.tokamachi.niigata.jp/>

■問合せ 総務課広報広聴係
☎757-3112（内線213）

「まち・むらトーク」開催結果

開催日	地域・地区	会 場	テーマ	テーマトーク内容	参加者数
7月13日(金)	水 沢	水沢公民館	地域の重点課題を話し合う	①高速情報通信網整備事業 ②地域中核病院と高規格道路インター整備 ③広域農道整備計画と市道取り付け	110人
10月4日(木)	大井田	大井田コミュニティセンター	大井田に住んで良かったといえる地域づくり	①地域福祉と地区福祉会のあり方 ②都市計画税 ③地区の生活環境づくり	90人
10月5日(金)	十日町西	情 報 館	魅力ある地域、個性ある『まちづくり』	①十日町西地域の開発、発展 ②十日町病院の今後の見通し	80人
10月9日(火)	中 条	中条公民館	ふるさとの未来に今やるべきことは	①安心・安全に生活できる環境整備 ②歴史的財産の活用伝承のためのハード事業 ③山間地に目を向けた行政要望（健康、克雪、農業対策）	70人
10月11日(木)	吉 田	吉田ふれあいスポーツセンター	2009年国体を活用した地域づくり	①吉田クロカンコースの夏場活用 ②民生委員の増員	120人
10月12日(金)	松 代	松代総合センター	高齢化社会における住み良い地域づくり	①高齢化対策 ②高齢者福祉施設整備計画 ③限界集落への対策 ④青壮年層の雇用の場の創設 ⑤高速情報通信基盤の整備	130人
10月23日(火)	松之山	松之山自然休養村センター	これからの松之山の進むべき道	①新しい農政と松之山農業の進むべき道 ②市道の改良促進 ③冬季間道路の確保 ④都市との交流の取り組み ⑤松之山温泉の進むべき道 ⑥松代、松之山分遣所統合	90人
10月24日(水)	中 里	中里総合センター	地域づくりは産業振興と安心生活から	①地域建設産業と雇用・集落維持 ②ミオンプラス運行時間の変更 ③353号線宮中～山崎間の早期完成 ④地域の医師確保のための奨学金制度 ⑤救急車の利用方法及び経費 ⑥「小松原」畑団地への耕作者増加対策 ⑦地産地消の推進 ⑧周辺地域的高速通信網の早期整備 ⑨障害者用のグループホーム整備	70人
10月30日(火)	川 西	千手中央コミュニティセンター	合併後 今私たちが思っていること～地域連携と担い手・ボランティアを育てるシステムづくり～	①各地域協議会委員間の交流できるシステム ②公共サービスなど合併後の変化 ③都市計画道路の県への働きかけ ④賑わい空間を中心としたまちづくり ⑤集落機能維持の方策 ⑥老人会の補助金使途 ⑦ボランティア、老人会活動 ⑧団体活動支援窓口の支所設置 ⑨支所で市民の要件が完結できるシステム	100人
11月6日(火)	十日町南	川治公民館	みんなで創ろうよりよきふるさとよきまちを！	①十日町病院の今後の見通し ②市道「高山ー水沢線」の工事時期、ルート ③サッカー場建設と地域振興 ④地域情報化（投資効果、地域振興・まちづくりとの関係、サービス内容など） ⑤交通安全対策会議の早期開催	110人
11月8日(木)	十日町	市 民 会 館	どうする？「市街地活性化」	①中心市街地の活性化対策 ②愛宕山公園の復活 ③十日町小学校通学路整備、街路灯増設	130人
11月12日(月)	下 条	下条利雪親雪総合センター	田口市長を迎え地域の重点課題を話し合う	①東下組小学校の閉校にあたって ②大地の芸術祭、妻有焼の里づくりと連携した地域づくり ③東下組小学校施設を活用した交流拠点づくり ④参加する健康（医療）と福祉の里づくり ⑤下条地域的高速通信体系への取り組み ⑥震災復興基金を活用した地域づくり	85人

表彰 おめでとうございます

さまざまな分野で永年にわたり活躍・貢献した皆さんが国・県などから表彰されました。晴れの栄誉に輝いた皆さん、おめでとうございます。

永年にわたり、申告納税制度の普及発展に従事した功績で、小杉軍平さんが財務大臣表彰に輝きました。

小杉さんは、昭和51年に十日町大井田納税貯蓄組合長に就任以来、十日町青色申告会長、新潟県納税貯蓄組合総連合会理事を歴任。現在は同総連合会副会長、十日町納税貯蓄組合連合会会長を務め、振替納税制度の推進を図るとともに、税を考える週間の「中学生の税に関する作文」の実施など、納税思想の向上に努めています。

小杉さんは、「以前から推進してきた振替納税が広く浸透してきたのも、協力してくださる皆さんのおかげです。また、中学生の作文では、生徒たちが税をとおして純真な心で社会を学んでいる姿に感銘を受けます。このことは、将来必ず役立つと確信しています」と話していました。



小杉 軍平さん
(四日町4・69歳)

財務大臣表彰
(申告納税制度普及功労)

総務大臣表彰

(自治表彰)

～ 十日町市 ～

11月20日(火)、東京国際フォーラムで地方自治法施行60周年記念式典が行われ、自らの創意工夫により優れた施策を実施し、地方自治の発展に寄与したとして、十日町市が総務大臣表彰を受賞しました。十日町市は、克雪や過疎、少子化など互いに共通した課題を抱えるなかで、2000年に開催された大地の芸術祭をはじめ、合併以前から広域的な枠組みで一体的な行政運営を進め、地域の振興・社会福祉の充実に努めてきました。その功績が認められたものです。



大谷さんは、平成2年から働きもののブレインに勤務して今年で16年。障害を克服し立派な職業人として社会に貢献している努力は、ほかの障害者の模範として認められるとして県知事表彰を受賞しました。



大谷 光子さん
(水野町・47歳)

県知事表彰
(優秀勤労障害者表彰)

中林さんは、昭和47年に大熊工業に入社。仲間の技術者とともに、最新のビル建築や国指定重要文化財の修復などに携わってきたほか、50年以上前の技術を施工するなど、優れた左官技能が評価されました。



中林 忠敏さん
(若宮町・50歳)

県知事表彰
(優秀施工者表彰)

自立と協働

～ 地域協議会 から ～

各地域協議会を紹介します

7

水沢地域協議会

水沢地域協議会は、振興会役員や各種団体などから選出された20人で構成され、会長に上村國平氏、副会長に樋口誠氏、宮澤好美氏を選任しました。住民参画による地域の自立的運営と、官民協働による地域づくりを目指して4月から活動を開始しています。

◆◆◆ 現在までの主な活動状況 ◆◆◆

- 水沢地域協議会の開催（3回）
- 「まちづくり活動費助成事業」審査、採択
- 「地域情報化に係る企画提案会」への参画
- まち・むらトークの開催（7月13日）
- 「地域生活交通基本計画」策定に参画
- 「都市計画マスタープラン」策定に参画
- 広報紙「ねっとわーく水沢」の発行（年4回）

◆◆◆ まちづくり活動費助成事業の審査採択 ◆◆◆

今年度は、「つつじ原を蘇らせる会」と「当間山山麓活性化連絡推進協議会」の2団体が事業採択されました。「つつじ原を蘇らせる会」は、伊達原で大正時代から近年までにぎわっていた「つつじ原」を再びよみがえらせようと活動している団体です。また、「当間山山麓活性化連絡推進協議会」は、当間山山麓の豊かな自然の中に遊歩道を整備して、来訪者に自然の大切さや貴重な体験をしてもらおうと活動している団体です。

11月10日(土)に市民会館で開催された「まちづくり講演会」では、「つつじ原を蘇らせる会」の宮沢八州男さんが活動事例発表を行いました。



◆◆◆ これからの活動の方向 ◆◆◆

今後は、地区振興会との連携をより深め「地域のことは地域の手で」をテーマに、住みよい環境づくりを進めていきますので、ご意見、ご要望をお寄せください。

■問合せ 総合政策課自治振興係 (☎757-3193)

十日町地域協議会

◆◆◆ まち・むらトーク開催 ◆◆◆

11月8日(木)、市民会館を会場に「どうする？市街地活性化」をテーマにまち・むらトークが開催されました。

テーマトークでは、①中心市街地の活性化対策と再生の方向性について②愛宕山公園の復活と十日町小学校通学路の整備について、地域協議会の代表2人が質問、提案をしました。

その後の自由トークでは、①敬老会の助成金減額分の復活②旧田倉ビルのアスベスト対策と十日町小学校の改築について③地域の産業振興対策・若者に魅力のある雇用基盤の整備と企業支援について④災害時の避難所用空き地確保についてなどの意見・要望がありました。

この日参加した大島浄子さん(新座2)は、「ご縁があり参加させてもらいました。難しいことは分かりませんが、地域を良くするためには地域の人たちが一生懸命になることが大切です。それによって市や関係団体が応えてくれ、そこに感謝が生まれるのではないかと感じました。シャッター通りと言われている市街地が、地域の皆さんの知恵と工夫で「明るい住み良いまち」になってほしいと思います」と話していました。



11月8日(木)市民会館で開催された「まち・むらトーク」

◆◆◆ 十日町中央地区振興会が設立 ◆◆◆

11月23日(金)、十日町中央地区振興会設立総会が開催されました。この振興会は、十日町中央地区の13町内で組織され、会長に中山博氏が就任しました。これにより十日町地域全6地区で振興会が設立され、地域の課題解決のために、地域協議会と強力なスクラムを組む体制が整いました。

十日町地域の各公民館 各支所地域振興課自治振興係

《地上デジタル対応関係及び難視聴対策》

質 問	回 答
Bフレッツに加入すれば、地上デジタル放送は見られるようになるのですか？	インターネットと地上デジタル放送は別になります。インターネットに加入したからといって地上デジタル放送が見られるようにはなりません。地上デジタル放送を見るためには、11月9日に配付したパンフレット5～6ページを参照してください。また、最寄りの電気店でも確認できます。
共同アンテナでテレビを受信している施設を改修する場合の補助対象について、「見える・見えない」世帯が混在した場合はどのようにするのですか？	あくまでも地上デジタル放送を受信できない世帯が補助対象です。見える世帯は組合に加入してはいけないということではありませんが、その世帯分は補助対象外となります。
共同アンテナの改修費はいくらかかっても良いのですか？	標準的な仕様書（設計書）を組合ごとに作成する予定です。
年間の維持管理経費に対して、市からの補助はあるのですか？	市の助成は整備の部分だけで、維持管理は対象外です。

《防災告知関係》

質 問	回 答
緊急告知F Mラジオということでしたが、これは緊急時のみにしか放送が入らないのですか？	平常時でもエフエムとおかまちの放送は聞けます。
緊急告知放送は、普通のラジオでは聞けないのですか？	普通のラジオでもチューナーを78.3MHzに合わせれば聞くことができます。ただし、電源が入っていなければなりません。
緊急告知F Mラジオ3,000台は具体的にどういう形で配置されるのですか？	行政区単位に回覧数＋1台を配付します。どこに配備するかは各町内で検討してください。

《アクションプラン全般》

質 問	回 答
整備費20億円超のほか、維持経費はどうやってまかなうのですか？	インターネット事業は市が整備した設備（光ケーブルなど）をNTTに貸し出します。その使用料を維持経費に充てます。また、防災告知と地域ポータルサイト（地域情報の共有や発信を目的としてさまざまな情報を総合的に取り扱うホームページ）の維持費は、広告料収入や、市の一般財源を充てます。
インターネットを使用しない場合、印刷物で情報提供がなされるのですか？	行政情報についてはこれまでと同様に何らかの方法で市民の皆さんに行き渡るように今後も対応していきます。

※なお、今回の十日町市高速情報通信基盤整備事業の内容については個別説明会にも応じています。
希望する場合は下記の間合せ先まで問い合わせてください。

Bフレッツサービスの体験コーナーを設置しました。ご利用ください。

- 設置場所：○十日町市役所……1階 市民ホール
○川西支所……正面玄関ホール
○中里支所……1階 市民ホール
○松代支所……2階 フロア
○松之山公民館……正面玄関ホール
- 利用時間：各施設の開館時間内
- 体験内容：Bフレッツ（高速インターネット）
4thMedia（映像サービス）
ひかり電話＋テレビ電話

問合せ

総合政策課 地域情報化推進室 ☎757-3196
川西支所 地域振興課 ☎768-4951 中里支所 地域振興課 ☎763-2511
松代支所 地域振興課 ☎597-2220 松之山支所 地域振興課 ☎596-3131
「Bフレッツサービス」に関する問い合わせ先 ☎0088-800-0811（通話料金はかかりません）

十日町市高速情報通信基盤整備事業
《アクションプラン》
市民説明会

11月5日(月)から11月30日(金)までの間、十日町市高速情報通信基盤整備事業の計画内容についての説明会が開催されました。市民会館や公民館など市内61会場で行われた説明会には、延べ2,335人の市民が参加しました。各会場では、さまざまな意見や質問が出されました。特に多く出された質問とその回答をお知らせします。

なお、本事業の説明会は、市民説明会のほかに、テレビ共聴組合や事業者などに対しても行われています。

《高速インターネット関係》

1. Bフレッツサービスについて

質 問	回 答
「Bフレッツ」の仮申込書を提出して、本契約時になって「やはり辞めよう」ということになった場合どうなるのですか？	家庭の都合などもあるかと思いますがキャンセルは可能ですが、できる限り本契約をお願いします。
できるだけ早くBフレッツに加入したいのですが、整備順序はどのように決定するのですか？	仮申込の数や加入見込率を局舎単位で比較し、市とNTTで協議したうえで、平成20年2月末ころには決定します。
キャンペーン期間中で工事費が無料と聞いたのですが、光ケーブルの整備が完了する平成21年度まで有効ですか？遅くなると工事費が有料になるのですか？	平成21年度までキャンペーンが継続されるか不確定のため、現時点では工事費が必要になるのか不明です。ただし、市は工事費0円のキャンペーンを継続していくよう要望しています。
PC（パーソナルコンピュータ）を数台つなぎたい場合は料金が変わるのですか？	主に戸建てに住んでいる人を対象としたサービス（ハイパーファミリータイプ）は同一料金でPCを5台までつなぐことができます。

2. ひかり電話について

質 問	回 答
ひかり電話だけという契約はできないのですか？	できません。ひかり電話はBフレッツの追加サービスです。
電話機は今までのものを使えるのですか？	一般的には使用できますが、ISDN対応電話機など一部利用できないものもあります。
停電のときには使えるのですか？	停電中の利用はできません。ただし、無停電電源装置などを設置してひかり電話を利用しているケースはあります。
電話とFAXを同時に使用していますが、ひかり電話にした場合は同時使用は可能ですか？	可能です。



スローガン

魚沼の光り輝く雪上に
熱い魂刻み込め

第57回 全国高等学校スキー大会 インターハイがやってくる！

平成19年度全国高等学校総合体育大会第57回全国高等学校スキー大会（通称…スキーインターハイ）が2月2日（土）6日（水）に十日町市と湯沢町を会場に開催されます。昨年の全日本スキー選手権大会、来年のトキめき新潟国体冬季大会スキー競技会と3年続くクロスカントリースキー全国大会の第2弾。今年は全国の頂点を目指す高校生たちの熱き戦いが繰り広げられます。

インターハイ 十日町市初開催！

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）は、全国の高校生が一堂に会し、日本一の座を争う、高校生にとっては最も目標とする大きな大会です。新潟県では2001年（平成13年）妙高大会以来7年ぶり、十日町市では初の開催となります。

十日町市では クロスカントリー競技

十日町市では吉田クロスカントリー競技場を会場にクロスカントリー競技とノルディックコンバインド競技（クロスカントリー種目）が行われます。また、開会式は湯沢町の湯沢カルチャーセンター、アルペン競技は湯沢町の苗場スキー場、スペシャルジャンプ競技とノルディックコンバインド競技（ジャンプ種目）は南魚沼市の新潟県塩沢ジャンプ台で行われます。

全国各地から やってくる！

クロスカントリー競技に参加する選手団（監督・コーチ・選手など）は約500人、アルペン・ジャンプなど含めると1,500人にもものぼります。



競技役員全体説明会・研修会

12月16日（日）、吉田中学校で競技役員全体説明会・研修会が開催されました。インターハイ、トキめき新潟国体と2年続く全国大会の円滑な競技運営、そして大会成功に向けた競技役員の資質向上を図ったものです。

全体の約半数にあたる約100人が参加した会では、インターハイ・国体で競技長を務める桑原政司さんによる「十日町らしくクロスカントリースキー競技会を創造する」と題した研修や、コース、関門、スタジアム、スタートフィニッシュ、計時計算、庶務、救護の7つの係に分かれてのミーティングなどが行われました。今後も一丸となりすばらしい大会運営を目指して研さんを重ねていきます。

問合せ

トキめき新潟国体冬季大会等
十日町市実行委員会事務局
（市国体準備室内）
☎75213103

ります。また、競技役員など大会運営関係者も全体で1,500人を超え、参加者だけで総勢3,000人を超える大変大きな大会です。このほか全国各地からたくさんの応援者、観戦者が訪れます。市民の皆さんからもぜひ会場に足を運んでいただき、全国の皆さんと一しよに盛り上げましょう。

大会日程など詳細は、市報次号1月25日号でお知らせします。

十日町らしく 競技会を 創造したい



桑原 政司さん
（吉田中教頭・50歳）

競技長という大役、責任は重大です。時にはプレッシャーも感じます。しかし、全国大会開催は関係者にとって長年の夢。その実現に向けて自分がかかわることができるということは大変うれしく、ありがたいことだと思っています。

インターハイは、「華やかさ」と「厳しさ」という両方の側面を持つ大会です。高校生にとってはあこがれの大会であり祭典である一方、レースは過酷です。運営側に立つ者としてそれらを十分認識し、万全の態勢で臨みたいと思います。

スキー競技会の成功の要素は4つ。「けが人を出さない」「失格者を出さない」「抗議が出ない」「正確な記録を出す」。これら4つが全てそろえば競技会はいまうまくなります。そのためには競技役員の資質能力向上は欠かせません。競技役員全員が共通の理解を深め、連携しながら一丸となって競技運営に臨みたいのです。「十日町らしくスキー競技会を創造する」を心に刻み、熱意・誠意・創意を持って運営にあたります。

十日町市スキー協会ではクロスカントリー部企画部長を、トキめき新潟国体等十日町市実行委員会では競技専門委員長を務める。インターハイ・国体の両大会では競技運営の責任者である競技長を務める。

子どもたちが 成長させてもらった 恩返しに



宮澤 久子さん
（寿町4・59歳）

インターハイ開催が目前に迫る中、選手たちはワックス代がかかって大変だと聞き、何とか支援・協力できないかと考えました。そんなとき、手ぬぐいの製作を思いつきました。

最初は10人に満たなかった仲間も次第に人が人を呼び、今では45人。当初製作した手ぬぐい500枚はあっという間になくなり、約4か月でおよそ2,000枚。多くの人に気持ちよくご賛同いただき、多額の寄付が寄せられました。このような応援が、少しでも選手たちの励みになればうれしいですね。

女性部は子どもの成長を見守った親たちの集まり。みんな強い思いを持っています。そんな私たちが、少しでも貢献できれば…。それが、大変だったけど子どもたちを成長させてもらった者の恩返しです。

十日町スキー連合会女性部部长。昨年、アルペン・クロスカントリーを問わず子どもがスキー競技をした経験を持つ人が集まり女性部を設立。大会時には裏方としてボランティアで運営をサポート。

リレーメンバーに 入って全国優勝！



保坂 美紀さん
（十日町高校2年）

インターハイ・国体の地元開催を知ったのは中学生のときでした。高校進学時にスキーを続けようか迷いましたが、親の後押しもあり、2年生で行われるインターハイ、3年生で行われる国体と地元開催の全国大会への出場を目標にスキーを続ける決心をしました。

去年は全国に通用せず、とても悔しい思いをしました。地元開催のインターハイ、今年は上位入賞を目指して頑張ります。1年生にも負けられないです。リレーでもメンバーに入って全国優勝を目指します。吉田はとてもつらいコースだけど、下りもいっぱいあるし嫌いじゃありません（笑）。せっかく地元コースで行われる全国大会、新潟県の選手がたくさん活躍する大会になればいいですね。

インターハイは自分たちの力だけでは良い成績が出せません。地域の皆さんの大きな応援をよろしくお願ひします。

ズバリ!!!言うわよ!!!

結果には、 いつもより こだわりたい



伊佐 貴光さん
（十日町総合高教諭・34歳）

インターハイでは、県内の各高校は男女とも優勝争いが、市内の選手は上位争いが可能です。地元の選手たちは夏場もコースを走り込みました。地の利を生かして雪の上でも突っ走ってほしいです。

初めて地元で行われる全国大会、皆さんの期待に何とか応え、多くの選手に活躍してほしいです。手ぬぐいなど皆さんの物心両面にわたる応援、役員の皆さんの支援、本当に力になります。負けられないですね。時にはプレッシャーも感じるけどマイナスととらえずプラスに変えて、励みにしたいです。結果が全てではないですが、いつもより結果にこだわります。何とか結果を出したい。ぶざまな成績は収められません。

たくさんの人が会場に来て、高校生が頑張っている姿を見てほしいです。そして、スキーを続ける子どもたちが増えてくれればうれしいですね。

十日町総合高校クロスカントリースキー部監督。昨年の富山インターハイ・秋田わか杉国体をはじめ、今年のインターハイ・長野かがやき国体でも新潟県選手団クロスカントリーチームの監督を務める。

農業元気センター

農業者に身近な窓口

農業元気センター

A group of men in suits are seated around a large, dark wooden conference table in a meeting room. One man stands at the head of the table, speaking into a microphone. The room features large windows on the left, a green chalkboard on the right, and a polished floor. Several small white cups are placed on the table in front of the participants.



このことから、集落での「寄り合い」ワークシヨップを、市内5集落（新水、姿、仁田、蓬平、儀明）でモデル的に始めました。国や自治体の支援策を集落や組織に当てはめようとする従来型の形態ではなく、まず集落みんなで集まり、ムラや組織が抱えている課題をしつかり共有することから始めるものです。「高齢化集落」対策の一つとしても、大いに参考になるものと考えています。

同年12月には、市内農業関係機関
代表者（農業委員会、JA十日町、
魚沼農業共済組合、森林組合、土地
改良区）及び市と、10人の各地域農
業者代表からなる「十日町市担い手
育成総合支援協議会（以下「協議会」とい
う）」を立ち上げました。協議
会では、「地域の実情に応じて、担い
手の確保・育成、集落営農の組織化
の推進、法人化の促進、担い手の経
営技術の向上や経営改善を支援する

魚沼産コシヒカリの高ブランド化

2つ目として、「魚沼産コシヒカリの高ブランド化」にも動き出しました。

7月、事業戦略構築研究所A×代表の高木響正氏を招いて「新たな地域ブランドの創出講演会」を行ったのをきっかけに、高木氏とともに何度か勉強会などを行っていました。その結果、米価の下落が予想以上に大きくなった現状と、当市の農業の中心はコメであることを踏まえ、まずはコメについて再度しっかりと取り組んでみようという方向を導き出しました。

認定農業者及び生産組織それぞれの協議会代表者からなる担い手アクションサポート会議を11月14日(水)に立ち上げ、高木氏をコーディネーターに取り組みを始めています。

市では、5年後、10年後にもつな
げられる農業の担い手づくりに、農
家はもちろん、非農家も巻き込んで
取り組んでいきたいと考えています。
厳しい今だからこそ、市の中心的な
産業の一つである農業の発展に、市
民の皆さんの力添えをお願いしま
す。

平成18年度の動き

加入者の面積カバー率は約20%

生産組織などの聞き取り調査を皮切りに、個別農家や集落の依頼に応じた説明会の実施やJA十日町主催の収穫期懇談会に同席して制度説明を行いました。認定要件にあと少し面積が足りない認定農業者への説明や、面積要件に該当しているが認定農業者でない農業者への「認定農業者への勧め」などが主な内容です。

平成19年2月には、4地域で加入申請記入指導も行いました。しかし、そのまま加入申請にはつながらず、加入者の面積力バー率50%を目標とした県の目標数値を大きく下回り、当市は20%弱という結果でした。

制度のメリットがあまり見られないこと、魚沼産コシヒカリがほかの銘柄に比べて高値取り引きの期待ができることなどが、農地集積につながらなかった主な原因です。

平成19年度の取り組み

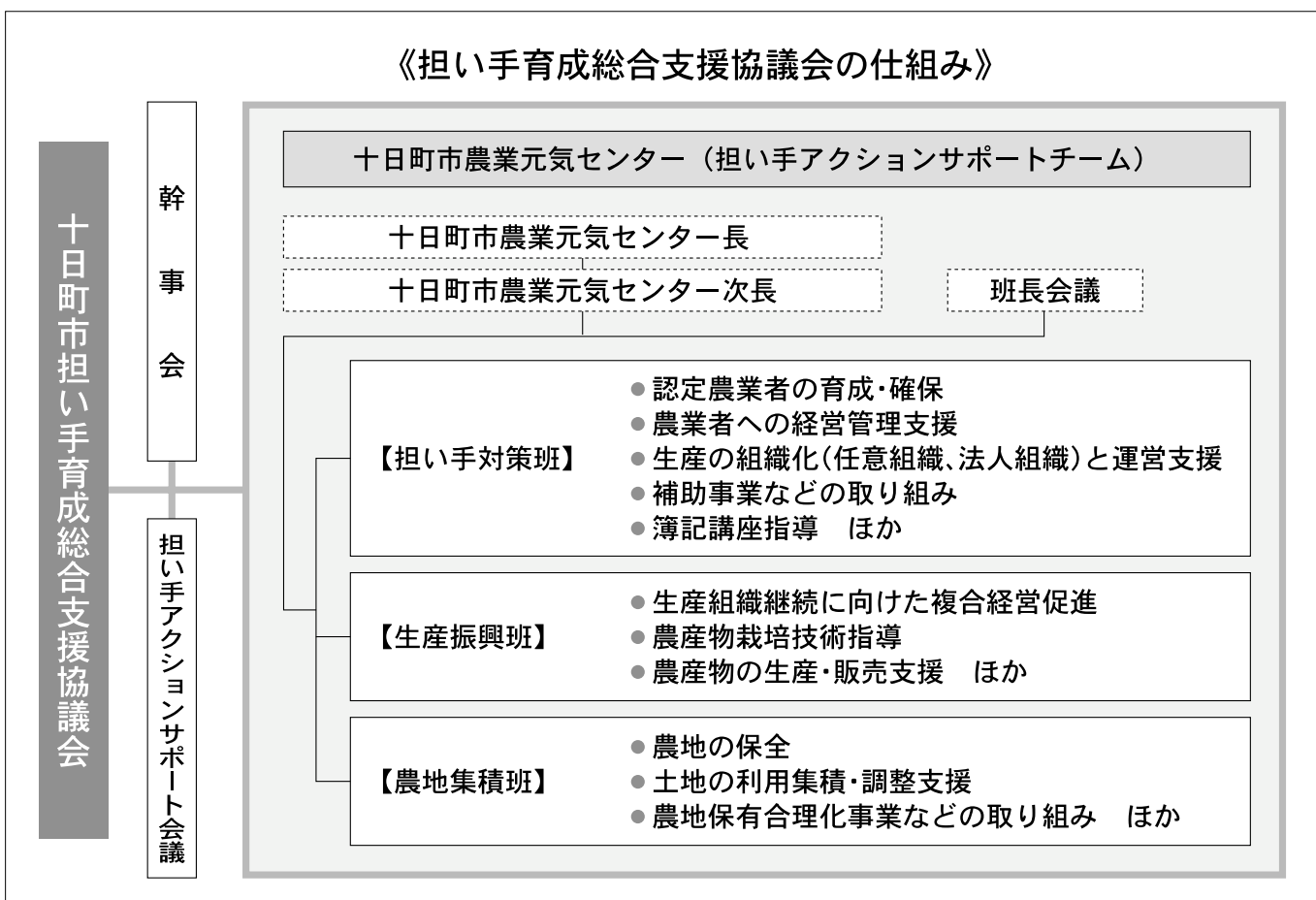
「寄り合い」ワークショップ開催

平成19年度に入ってから、2つの柱を立て、取り組みを始めました。1つは、集落での「寄り合い」ワークショップです。

農業元氣センター設置後の説明会や取り組みの中で、農業者個々の不安や心配ことは同じなのに、それを隣近所、集落などで話し合うことがない、つまり集落のコミュニティが機能していない現実に直面しました。農業社会では昔、「結い」（農家相互で力を貸し合う労働慣行。田植え・稲刈りなどのときに行われる手間換え）がありました。お互いの助け合いが、集落を支えていた要素の一つでしたが、今はそのつながりがとても希薄になっています。

この課題に対して、一つの光を当ててくれたのが、前年開催の「農ポジウム」で講演した明治大学の小田切徳美教授です。小田切教授は、農山村地域における「跡継ぎ、後継者の流出による『人』の空洞化」、「農地荒廃による『土地』の空洞化、それらの進行により『ムラ』としての維持ができなくなる『ムラ』の空洞化」などの課題を指摘。そのうえで、ワークシヨップを活用した集落の話

《担い手育成総合支援協議会の仕組み》



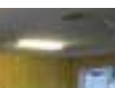
湯
ユ
米
マイ
心
ハート

まつのやま

松之山支所
☎596-3131

温泉スキー場の施設整備が完了
リフト新設でリニューアルオープン

松之山地域の目玉事業の一つ、松之山温泉スキー場のリフト新設工事が完了し、12月19日(水)、スキーハウスでしゅん工式が行われました。スキー場の施設整備事業は平成16年度から始まり、18年度にゲレンデ拡張工事から始まり、18年度からリフト新設のための工事が進められていきましたが、これで一連の工事が終了したことになります。



昭和58年12月にオープンしたスキー場は、これまでリフト3基で運営してきましたが、施設の老朽化に伴い第1・第2リフトを廃止。これに替わる新たなロングリフト1基の新設が求められていました。新設されリフトの傾斜長は964mで、山

しゅん工式には、田口直人市長やスキー場関係者など50人が参加。田口市長は、「スキー場整備は地域の熱い思いと団結の結果です。これから地域の熱意でスキー場を育てていくてほしい」とあいさつしました。また、式典後に行われた安全祈願祭では、田口市長と柳靖治松之山スキー協会長が新リフトのスイッチを入れ、シーズン中の安全を祈願しました。

かわい新聞

川西支所
☎768-3111

盆と暮れは大掃除！

千手中央コミュニティセンター

12月18日(火)午後7時、千手中央コミュニティセンターに、ぞうきんを手にした人たちがドンドン入ってきます。たしか、火曜日は休館日のはずなのに…。ふと見ると、玄関の「本日の催し」看板には、「コミセン一斉大掃除」の文字が。



千手中央コミュニケーションセンターが開館して1年9か月がたちました。新しく、利用しやすい施設ということから、さまざまな活動や集会、発表の場として、多く使用されています。そんな中、定期的に同センターを利用している団体の人たちなどが、年に2回、ボランティアで清掃を行っています。

この日は今年2回目の「大掃除」で、約100人が参加。寒い中で
の作業でしたが、参加者たちは和
やかに会話をしながら全員で力を
合わせ、1時間ほどで見事にピカ
ピカにしていました。参加者の一
人は、「いつも使わせてもらう場
所をみんなで掃除すると、施設を
汚さないようにという気持ちが生
まれますね」と話していました。

掃除に参加してくれた皆さん、
ありがとうございました。次回は
お盆です。

親子切り絵教室

～親子で楽しむ「お飾り紙」作り～

12月16日(日)、上野コミュニティセンターで上野地区子どもを育む会（渡貫文人代表）主催の親子切り絵教室が開催されました。川西切り絵同好会の星名美江子さん指導のもと、保護者・児童合わせて約30人が参加し、正月用のお飾り紙を作りました。「賀正」「新春」「松竹梅」「打ち出の小づち」や子年にちなんだ「ねずみ大黒様」の下絵に沿って、細いカッターで紙を切っていく細かい作業に、子どもたちは真剣な表情で向かっていました。「カーブを切るのがむずかしい」「疲れたー」と子どもたちから声があがりましたが、作品の出来栄えには、全員が満足そうでした。



千年の森でクリスマスコンサート



12月10日(月)、きてみて音楽会澤
 潟真由美会長) 主催による『千年
 の森クリスマスコンサート』が千
 手中央コミュニティーセンターで開
 催されました。

コンサートには、市内の保育園児約200人が訪れ、クリスマスにちなんだ「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」などのクリスマスソングや人気アニメのテーマ曲などが演奏されました。園児たちもいっしょになって大合唱したり、手作りのマラカスでリズムを取って演奏に参加したりと、あつという間に過ぎた楽しい1時間でした。

健康で楽しく暮らせるように！

12月14日(金)、「たっしゃだ会」が下布川地区コミュニティセンターで行われました。この教室は、楽しく運動したり講話を聞いたりして体力や生活習慣を改善しようとするもので、今年度松之山地域では6つのモデル地区で実施されています。

この日は、エリア・ドウ21の関口陽子さん、在宅栄養士の滝沢朋子さんを講師に健康体操や栄養指導が行われ、約15人の地域住民が参加しました。健康体操では、タオルやボールなどを使った運動のほかに、手のグー・パーと脚の開閉を組み合わせた脳刺激体操にも挑戦。「パーは出るが、グーが難しい」と悪戦苦闘する参加者に関口さんが、「間違ってもいいので集中して。脳体操は頭の血行が良くなって血管がきれいになるんですよ」と声をかけるなど、会場には終始にぎやかな声が響いていました。



強い筋肉をつくらう！

介護予防講演会

12月3日(月)、寝たきりゼロを目指そうと、松之山自然休養村センターで介護予防講演会が開催されました。講師の高橋賢一氏（明治学院大学名誉教授）は現在、レインボー健康活動普及協合理事長を務めていて、全国を回り健康体操の普及活動をしています。講演では、自ら考案したレインボー健康体操を紹介しながら、「日本人の関心は健康にあります。筋力があれば介護は要りません。健康体操は、強い筋力をつくりますが、1か

月や3か月でやめてはダメ。継続することが大切です」と熱弁。また、「温泉宿泊客のために、健康体操の講習会をサービスしたらどうか」などの提案もしていました。参加した約200人は、講師のユーモアを交えた話に聞き入りながら、楽しく介護予防について学んでいました。





福原 星那ちゃん
ふくはら せなちゃん
平成16年5月30生まれ
下川手

ままごとが大好きなせなちゃんは、おばあちゃんと
いっしょにご飯の支度もお手伝い。すりばちでごまを
すったり和え物をしたりするのも上手です。大きくな
ったら「お母さんになりたい！」せなちゃんです。



31



小林 奏太郎ちゃん
こばやし そうたろうちゃん
平成16年12月16生まれ
荒屋

お兄ちゃんといっしょにわざわざ湯沢まで会い
に行くくらい、新幹線にはまっているそうちゃん。
今一番欲しいものは新幹線700系です。人なつこ
いそうちゃんは、4月に保育園デビューします。

ときめき ネットワーク

③1

営業は自分を売ること！

将来は十日町で働きたいと思っています。今年2年目で営業をやっています。始めは何も分からなかったけど、全てが新鮮で覚えるのが楽しかったです。営業は会社の顔でもあるので、そういう意味では会社の印象を悪くしないよう気を遣います。何より大変だったのは、4年間ペーパードライバーの自分にとって「運転すること」でした。一人での営業デビューは、去年の1月。東北地方の呉服屋さんへの年始回りでした。降雪時期だし、高速道路も初めてですごく不安でした。無事帰って来れて良かったです（笑）。
今後の目標として、大口のお客様を取り取引開始につなげたいです。大切なのは開始した後のフォロー。常に加工を出していただけるよう頑張りたいと思っています。
先月、十日町に映画館が復活しました。文化的な施設ができたこと、感動する場所が増えたことはうれしいですね！



高橋 雄太さん
1983年生
株式会社 きものブレイン勤務

先月の小林めぐみさんからバトンタッチ。

がんの現状

国や県と同様、十日町市の死亡原因の第1位は「がん」です。平成17年には市の死亡者733人中、じつに204人の人が、がんが原因で亡くなっています。中でも、肺がん、胃がん、大腸がんで亡くなる人が多くなっています。

受けよう！がん検診

がんは早期に発見し、適切な治療を受けることが大切であり、その有効な手段が「がん検診」です。

平成18年度の市のがん検診で

あなたはがん検診を

受けていますか？

も下表のとおり多くのがんが発見されています。

自分の健康を守るために、定期的にがん検診を受けましょう！

市のがん検診

市では、胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がんの検診を行っています。

今年度のがん検診は終了しましたが、来年度の各種検診申込書を平成20年2月に全世帯に配布します。申込書の説明や注意事項をよく読み、対象となる人はぜひお申し込みください！



問合せ 健康支援課成人保健係
TEL757-3719（内線125）

越後妻有 雪アート・プロジェクト

日時：2月16日(土)～17日(日) 午前10時～午後3時

新潟で活動する作家11名が越後妻有に集結し、妻有の雪に肉薄する、2日間限定の展示とワークショップを開催。雪に身を投げ刻印するパフォーマンス、巨大な雪上絵、大ぞり、雪をかぶったはしごの森、さまざまなオブジェ……ミオンなかさとの広々とした雪原に刻まれる一つ一つのこころ。作家と地元との協働によって生まれる冬の実験的な活動は、見逃せないものとなるでしょう。

「越後妻有2008冬」で最も注目のイベントです。

【会場】

ミオンなかさと

【参加作家】

堀川紀夫、舟見俊二、関根哲男、佐藤秀治、霜島健二、佐藤和行、吉川弘、外山文彦、大久保淳二、本間恵子、前山忠

【内容】

雪に身を投げ刻印するパフォーマンスとワークショップ、巨大な雪上絵、大ぞりの復活、雪ぼうし、アートかまくら、はしごの森アート

【参加費】

無料ですが、雪に身を投げ刻印するパフォーマンスとワークショップについては、記念写真を希望する人のみ実費をいただきます。

大地の芸術祭冬季プログラム

「越後妻有2008冬」

③

今回と次回は、十日町雪まつり期間中に行われるワークショップやイベントについて紹介します。雪を利用した斬新なアートが展開されます。ぜひ、雪まつりとあわせてお楽しみください。



問合せ

まつだい農舞台事務局
☎595-6310
観光交流課芸術祭推進室
☎757-2637

平成18年度 十日町市各種がん検診結果一覧表

平成19年3月31日現在（単位：人）

検 診 名	受診者数	精密検査 対象者数	精密検査 受診者数	精 密 検 査 結 果			
				異常なし	が ん	がん疑い	がん以外の疾患ほか
胃 が ん 検 診	5,527	649	588	247	22	0	352
大 腸 が ん 検 診	7,055	439	381	108	18	0	283
肺がん 検 診	胸部レントゲン検査	12,646	476	228	5	12	182
	かくたん検査	639	0	0	0	0	0
子 宮 頸 が ん 検 診	2,029	15	14	1	0	0	13
乳 が ん 検 診	2,016	301	291	142	6	1	157
前 立 腺 が ん 検 診	1,357	112	97	43	11	31	12

※精密検査受診者数と精密検査結果の合計は、精密検査結果の内訳に重複症があるため、一致しないものがあります。

Q. 保険料額はどれくらいになりますか？

A. 新潟県内後期高齢者の1人あたりの保険料年額の平均は、およそ63,000円となります。

【保険料額一覧表】

下記の表は、年金収入の人の1人あたりの保険料を示しています。世帯の所得状況によって「均等割額」の軽減が受けられる場合があります。

公的年金収入額（年間）		所得割額（ア）	均等割額（イ）	保険料【年額】（ア）＋（イ）
153万円以下	7割軽減該当	0円	10,500円	10,500円
	5割軽減該当	0円	17,600円	17,600円
	2割軽減該当	0円	28,200円	28,200円
	軽減該当なし	0円	35,300円	35,300円
200万円		33,600円	35,300円	68,900円
250万円		69,300円	35,300円	104,600円
300万円		105,100円	35,300円	140,400円
350万円		137,200円	35,300円	172,500円
400万円		164,000円	35,300円	199,300円

※ケース別に見ると、年金収入額が79万円（老齢基礎年金が満額）で単身者の場合は年額10,500円、年金収入額が208万円で単身者の場合は年額74,600円となります。

高齢者医療制度の見直し内容

1、70～74歳の人（注1）の窓口負担が据え置かれます

平成20年4月から平成21年3月までの1年間窓口負担が1割に据え置かれます。

（注1）既に3割負担をしている人、後期高齢者医療制度の対象となる一定の障害認定を受けた人は除きます。

（注2）昨年の制度改正で、70～74歳の人の窓口負担は、平成20年4月から2割負担に見直されることとされていたものを据え置くものです。

2、後期高齢者医療制度の75歳以上の被扶養者の保険料

平成20年4月から9月までの6か月間は無料となり、平成20年10月から平成21年3月までの6か月間は、頭割保険料額（被保険者均等割）が9割軽減された額となります。

対象となる人は、75歳以上の人（注1）で、後期高齢者医療の被保険者になる日の前日（平成20年3月31日または75歳の誕生日の前日）において被用者保険（注2）の被扶養者となっている人

（注1）65～74歳で一定の障害認定を受けた人を含みます。

（注2）政府管掌健康保険や、企業の健康保険、公務員の共済組合などの、「サラリーマン」の健康保険であり、国民健康保険は該当しません。

（注3）昨年の制度改正では、被用者保険の被扶養者の人は、後期高齢者医療制度の被保険者となった日の属する月から2年間被保険者均等割を5割軽減することとされていますが、今回の措置はそれに加えて行うものです。

問合せ

十日町市役所介護国保課国保係

川西支所・中里支所・松代支所市民生活課保険年金係・

松之山支所市民生活課市民保険係

平成20年
4月から

「後期高齢者医療制度」

シリーズ No.6 保険料について ～その2～

問合せ

介護国保課
国保係

☎757-3735

Q. 保険料率はどのくらいになりますか？

A. 平成20・21年度の保険料率は、所得割率は7.15%、均等割額は1人につき35,300円になります。

この保険料率は、県内後期高齢者の2年間の医療給付費（医療費から自己負担額を除いた額）の1割（下

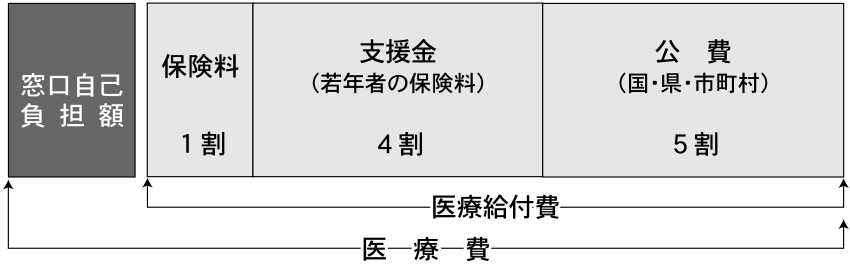
図）を加入者全員でまかなえるように算定され、広域連合議会で決定しました。1人当たりの保険料額は、加入者の所得に応じて決められる「所得割額」と、加入者が均等に負担する「均等割額」との合計額です（1人当たりの保険料賦課限度額は50万円です）。

後期高齢者医療制度の保険料

《平成20・21年度の保険料率》

	保険料率
所得割率	7.15%
均等割額	35,300円

《医療費の財源構成図》



《保険料の計算方式》

1人当たりの
保険料額

=

所得割額
(前年中の総所得金額－
基礎控除33万円)×7.15%

+

均等割額
1人につき
35,300円

Q. 保険料の軽減制度はありますか？

A. 所得の低い人や制度加入前日まで社会保険の被扶養者だった人には、それぞれ保険料の軽減制度があります。該当となる人は申請をしなくても保険料が軽

減されます。また、地震や風水害などで被害を受けた人は、申請をして認められると保険料の減免が受けられる場合もあります。

◎所得の低い人の軽減制度

均等割額の軽減：世帯の所得状況に応じて「均等割額」が軽減されます。軽減割合は、同一世帯内の加入者および世帯主（加入者でない人も含む）の合計所得金額をもとに、下表の基準により判定します。

均等割額 軽減割合	同一世帯内の加入者及び世帯主の合計所得金額
7割軽減	33万円以下の世帯
5割軽減	33万円＋（世帯主を除く加入者数 × 24万5千円）以下の世帯
2割軽減	33万円＋（加入者数 × 35万円）以下の世帯

※軽減判定時の年金所得計算方法 年金収入 － 公的年金控除 － 特別控除（15万円）＝ 年金所得

◎制度加入前日まで社会保険の被扶養者だった人の軽減制度

所得割額と均等割額の軽減…制度加入時から2年間「所得割額」と「均等割額」が軽減されます。なお、平成20年4月から平成21年3月までの軽減内容は、高齢者医療に係る「凍結策」として特例で定められました。

適用期間		所得割額		均等割額	
		軽減内容	軽減後の金額	軽減内容	軽減後の金額
加入時から2年間		かかりません	0円	5割軽減	17,600円
特例	平成20年4月～平成20年9月	かかりません	0円	かかりません	0円
	平成20年10月～平成21年3月	かかりません	0円	9割軽減	1,700円

原油高騰に伴う助成制度

市では、灯油購入の助成、中小企業への金融支援を行います。

【低所得者に対する灯油購入の助成】

●対象：平成20年1月1日現在で市内に住所を有する
市民税非課税世帯

※社会福祉施設などに入所または入院している世帯は対象になりません

●助成金額：一世帯当たり5,000円（口座振込みによる現金支給）

●申請受付開始：1月15日(火)

《申請・問合せ》2月22日(金)までに、福祉課高齢福祉係
☎757-9169（内線144）または各支所健康福祉課

【中小企業等への金融支援】

市内に事業所を有し、対象となる資金の融資を受けた
中小企業者に対し、新潟県信用保証協会へ支払う信用保

証料を補助します。（市税を完納していることが条件）

●対象となる融資の名称：新潟県セーフティネット資金
（経営支援枠・粗利益減少要件）

※原油などの原材料費高騰の影響により、最近3か月間の粗利益が前年同期の粗利益に比し5%以上減少している中小企業者が利用できます

※ほとんどの業種が利用できますが、一部利用できないものもあります

●信用保証料の補助：

①借入金額500万円以下のものは信用保証料の全額

②借入金額500万円を超えるものは信用保証料の50%

●適用期日：平成20年1月4日以降の融資実行分から適用

《申請・問合せ》産業振興課商工振興係 ☎757-3139



体験しながら“食”の大切さを学ぶ

12月22日(土)、千手中央コミュニティセンターで十日町地域食育普及ワークショップが開催されました。会場では、親子料理教室やおにぎりを自分で作るミニ調理体験、地元の野菜を使った試食コーナーなどさまざまな催しが行われ、親子連れなど約500人の人出で終日にぎわいました。親子料理教室に参加した小幡早苗さん（仁田）は、「子どもに料理をさせる機会がないので、貴重な時間でした。楽しくて時間があっという間に過ぎました」と話していました。また、(財)児童育成協会こどもの城管理栄養士の太田百合子さんが、「ごはんを食べる子 元気な子～噛む子に育てるために～」と題して講演を行い、参加者にごはんをきちんと食べることの大切さを訴えていました。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757-3112内線213）へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics

2008年 卓球始め

1月1日（元日）、第23回十日町市川西オープン元旦卓球大会が川西総合体育館で開催されました。この大会は十日町市卓球協会（渡辺一治郎会長）が毎年開催しているもので、今回は市内外から老若男女約160人が参加しました。会場はかなり冷え込んでいましたが、参加者たちは寒さにも気にせず熱気あふれる試合を繰り広げました。新潟市から参加した木津タミ子さん（60歳）は、「雪で会場まで来るのが大変でした。元旦卓球に参加するのは久しぶりですが、この大会に出ると今年も頑張ろう！という気になりますね」と新年最初の大会を楽しんでいました。



おいしく打てたよ！

12月25日(火)、八箇小学校でそば打ち体験が行われ、児童や地域住民など35人が参加しました。これは5年前から行われているもので、妻有工房かわきたの中澤喜明さんの指導のもと、上級生は4・5年目とあって手際良く作業を進め、下級生も手伝ってもらいながら、一生懸命そばを打っていました。そば粉には児童と地域の人たちがいっしょに育てたそばの実が使われていて、味も格別。自分で打ったそばの出来に、児童も大人も大満足でした。

市民スキー選手権 大会出場者募集

【アルペン競技】

●日時 2月10日(日)午前8時受付開始

●会場 松代ファミリースキー場

●参加資格 市内及び津南町在住・在学・在職者

●競技種目

▼大回転 ①小学3年以下男女
②小学4年男女 ③小学5年男女
④小学6年男女 ⑤中学男女 ⑥高校生以上女子 ⑦24歳以下男子 ⑧34歳以下男子 ⑨44歳以下男子 ⑩45歳以上男子

●参加費 ①1,000円（リフト代別途）

●申込み・問合せ 1月22日(火)までに、申込み用紙（申込み先に配置）に参加費を添えて総合体育館（☎752-4377）

【クロスカントリー競技】

●日時 2月10日(日)午前7時30分受付開始

●会場 吉田クロスカントリー競技場

●参加資格 市内在住・在学者

●競技種目

▼個人 ①小学2年以下男女 1km ②小学3年男女 2km ③小学4

年男女2km ④小学5年男女3km ⑤小学6年男女3km ⑥中学男子5km ⑦中学女子3km

▼スプリントリレー ①小学男子 ②小学女子（3人×1kmを2回） ③中学男子 ④中学女子（2人×1kmを3回）

●参加費

▼個人 ①1,000円

平成20年度 市奨学生募集

20年度の市奨学生を募集します。

●応募資格 20年度に高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学に進学予定か在校中で、次のすべてに該当する人 ①保護者が十日町市に3年以上住所を有し、市税を滞納していない人 ②学業成績が優秀と認められる人 ③経済的な理由で学資の支払いが困難な人 ④心身ともに健全な人

●奨学金月額

▼高等学校 ①10,000円

▼高等専門学校 ②20,000円

▼専修学校 ③30,000円

▼短期大学・大学 ④35,000円

▼リレー

1チーム1,000円

●申込み 1月17日(木)までに、申込み用紙（問合せ先に配置）に参加費を添えて吉田クロスカントリーハウス

●問合せ 国体準備室（☎752-3103）

●貸与期間 20年4月から在学する学校の最終卒業年限の終わ

りまで

●提出書類 ①奨学金等貸与願

書 ②在学（卒業）学校長の推薦

書 ③成績証明書 ④住民票謄本 ⑤

医師の健康診断書 ⑥市県民税所

得課税証明書（世帯全員のもの）

⑦連帯保証人（市内に住所を有

する）を内諾している人の納税

証明書 ⑧同一世帯に高校生以上

の学生がいる場合、その学生証

の写し ⑨専修学校希望者はその

学校要覧など ※①②⑤は市ホー

ムページから入手可

●その他 ⑩修学一時金希望者も

若干名募集します（高校20万円

く大学50万円、願書は奨学金と

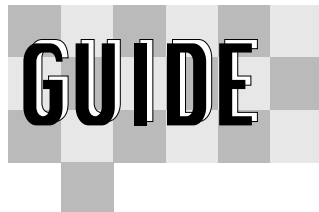
兼用）

●申込み・問合せ 2月29日(金)

までに学校教育課（内線315）

※3月下旬に奨学生を内定し、

月末までに応募者に通知



お知らせ・ガイド

市役所 TEL 757-3111



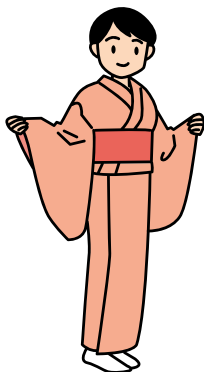
第6回妻有演劇まつり

迫力ある生の演劇が目の前で繰り広げられます。●日時Ⅱ1月26日(土)・27日(日)午後1時30分～(開場1時)・26日(土)のみ夜の部として劇団御の字の公演：午後7時～(開場6時30分)●会場Ⅱ市民会館●入場料Ⅱ無料●出演団体Ⅱ26日・十日町高校演劇部、三条東高校演劇部、小出高校演劇部、夜の部・劇団御の字、27日・小千谷西高校演劇部、六日町高校演劇部、劇団御の字●問合せⅡ中央公民館(☎757-5011)

キナーレ体験工房館
きもの着付け教室

日時Ⅱ2月～3月の毎週木曜

日午後1時30分～3時30分●会場Ⅱキナーレ体験工房館●受講料Ⅱ500円※きもの一式持参(有料貸し出しあり)●定員Ⅱ先着10人(当日受付可)※途中受講可●問合せⅡキナーレ(☎752-0117)

体験交流ビジネス研修会
農家民宿開業のすすめⅡ

農家民宿や農家レストランに興味がある人は参加してみませんか。●日時Ⅱ1月29日(火)午後1時30分～4時30分●会場Ⅱクロス10●参加費Ⅱ無料●内容Ⅱ講演会、農家民宿開業者によるパネルディスカッションなど●講師Ⅱ小林康生氏(門出和紙職人)●問合せⅡ十日町地域振興局企画振興部地域振興課(☎757-5517)

経営革新推進セミナー

経営革新の成功の秘けつを学びます。●日時Ⅱ1月28日(月)午後1時30分～3時30分●会場Ⅱ

285-5511

中条病院・中条第二病院・老人保健施設きたはら職員募集

正職員・臨時・パートを問いません。気軽に問い合わせてください。●募集職種Ⅱ看護師、准看護師、介護員※年齢不問●申込み・問合せⅡJA新潟厚生連中条病院看護部長室(☎757-3018)

県立上越テクノ
スクール受講生募集

【木造建築科耐震診断・一般診断法(学科)コース】初心者対象のコースです。●定員Ⅱ10人【ワード・エクセル確認コース】基礎から簡単な応用までを演習で学びます。

【両コース共通】●日時Ⅱ2月16日(土)・23日(土)午前9時～午後4時●定員Ⅱ20人●会場Ⅱ県立上越テクノスクール●受講料Ⅱ2、400円●申込み・問合せⅡ県立上越テクノスクール(☎025-545-2190)

小沢剛「かまぼこ型倉庫プロジェクト」借り主募集

まつだい農舞台近くにある7つの「かまぼこ型倉庫」のうち、

十日町商工会議所●参加費Ⅱ無料●内容Ⅱ講演「我が社にもできる経営革新」経営革新の土壌づくりと経営品質の活用」●講師Ⅱ三宮直人氏(経営革新コンサルタント)●申込み・問合せⅡ十日町商工会議所(☎757-5111)

第2回信濃川上流圏域
河川整備計画協議会

一般公開しますので、どなたでもおいでください。●日時Ⅱ1月23日(水)午後1時30分～3時30分●会場Ⅱ千年の森ホール●問合せⅡ十日町地域振興局地域整備部計画調整課(☎757-5408)

十日町おやこ劇場
暗やみ豆まき会

どなたでも参加できます。●日時Ⅱ1月26日(土)午後1時30分～●会場Ⅱ中央公民館●対象Ⅱ3歳以上●参加費Ⅱ200円(袋持参)●問合せⅡ加賀書院(☎752-2114)



6つの倉庫の借り主を募集しています。魚眼レンズで中をのぞけるようになっているこの倉庫に、お気に入りのものを飾ってみませんか。●展示期間Ⅱ4月26日(土)～11月30日(日)●応募方法Ⅱ2月29日(金)(必着)までに、応募用紙(まつだい農舞台ホームページ: http://www.nobutai.com/)に掲載)をFAXまたは郵送●応募・問合せⅡ〒942-1526十日町市松代374-3-1まつだい農舞台(☎595-6180 FAX 595-6181)



中越沖地震で住宅に被害を受けた皆さんへ

中越沖地震で半壊以上の被災認定を受けた住宅の解体・修繕などで発生した廃棄物の運搬費や処分費(一部損壊は処分費のみ)を無料とする期限は、2月29日(金)です。申請手続きが必要です。事前に連絡をしてください。●申請に必要なものⅡ被災証明(写し)・見積書・写真●問合せⅡ十日町・川西・松代地域・環境衛生課(☎75



ゲートボール初心者教室

参加を希望する人は会場で直接申し込んでください。●日時Ⅱ1月～3月の毎週金曜日午前9時～●会場Ⅱ総合体育館(十日町)●参加費Ⅱ1回300円●講師Ⅱ公認スポーツ指導員●問合せⅡ十日町ゲートボール連盟・小海(☎757-6075)

十日町市高等職業訓練校
20年度生徒募集

国家資格を持った経験豊かな講師が指導します。●科目Ⅱ建築図科(2級建築士養成)、コンピュータ科、ワープロ科(ワード入門・応用)、表計算科(エクセル入門・応用)、経理事務科、測量科●受付日時Ⅱ土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時●申込み・問合せⅡ3月5日(水)までに、入校申込書(問合せ先に配置)に証明写真を添えて十日町市高等職業訓練校(☎7

2-3924)▼中里・松之山地域・津南地域衛生施設組合(☎765-3495)

エイズ・肝炎ウイルス
検査を実施しています

事前予約が必要です。●日時Ⅱ①毎週火曜日午前8時30分～11時30分(予約は当日まで)②毎月第2月曜日午後5時30分～7時30分(予約は前週金曜日まで)※祝日除く●会場Ⅱ十日町地域振興局健康福祉部●受診料Ⅱ無料※証明書発行の場合有料●申込み・問合せⅡ検査予約専用電話(☎757-6012)または十日町地域振興局健康福祉部(☎757-2400)

県長岡労働相談所を
ご利用ください

労働者・事業主を問わず、労働に関するさまざまな相談に常時応じています。専門的な相談には弁護士や産業カウンセラーが応じます(要予約)。電話でも来所でも受け付けますので、気軽に利用してください。●相談時間Ⅱ月・金曜日午前8時30分～午後5時15分※祝日除く●申込み・問合せⅡ県長岡労働相談所労働相談専用電話(☎0258-37-6110)

52-3803

(株)まちづくり川西社員募集

●募集職種・人数Ⅱ総務(幹部候補)1人※年齢不問●業務内容Ⅱ経営・経理管理、社員管理など●応募資格Ⅱ企業会計経験者またはそれと同等以上の実力があり、経営感覚を有している人で、パソコンを操作できる人●雇用期間Ⅱ20年4月1日～6か月以内の試用期間あり●勤務時間Ⅱ午前8時30分～午後5時30分(休憩60分)●休日Ⅱ基本的に週休2日制で土・日・祝日休み●給料Ⅱ月額180,000円●申込み・問合せⅡ1月31日(木)までに、履歴書を(株)まちづくり川西(☎761-1515)

(福)なかさと福祉会
職員募集

20年4月1日付け採用の特別養護老人ホーム七川荘職員を募集します。●募集職種・人数Ⅱ①施設長1人②事務員1人●応募資格Ⅱ①広域行政圏域に住所がある満60～64歳の人で、介護保険関係などに従事したことがある、またはそれと同等以上の能力を有し、施設管理運営能力がある人②経理事務・社会保険



平成20年が明けました。おめでとうございます。今年も市報「だんだん」ともどもよろしく願います。

▼今年の干支、子年生まれの皆さんの取材に行きました。毎年のことなのですが、いつも感心するのは皆さんがそれぞれに新しい年への目標を持っていること。私も見習って新しい年への誓いを新たにしよう。とそのときは思うのですが、そう思ったことを忘れて、毎年年末を迎えてしまいます。▼市のホームページでは、市役所前の様子を撮影して、十日町の雪の状況を随時お知らせしていますが、暮れのまとまった雪で、年末と年始では別世界でした。わずか一夜でも世界が変わってしまつてころが「雪国十日町」のすごさですね。3日は1回目の雪下ろしをしている家が多く見られました。今年も大雪にならないといいのですが。▼昨年暮れのあいさつは、「降らなくていやなべだ(おこったの)」。新年早々は、「いったん来たの」。いつも話題の中心は雪です。多く降れば日常生活を圧迫し、少なすぎると関連する産業や冬の行事などに影響が及ぶ。一ちやうど良く降って。そんな素朴な願いさえ、地球温暖化・温室効果ガスの影響と、それをとりまく国際ビジネスの波にもまれる時代を迎えました。▼中越大地震記録集の編集が終了しました。多くの皆さんから資料提供・取材・編集にご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。間もなく配本です。



寄付ありがとう

12月25日届出分まで(敬称略)

- 社会福祉施設へ＝矢口邦治(昭和町4)(木工品：十二支1組・干支「子」46体)
- 博物館へ＝田辺軍司(駅通り)



うさぎをじょうずに
だっこできたよ



久保田 亜弓さん（1年）

6月から10月まで、1・2年生でうさぎを飼いました。私がだっこしているうさぎの名前は「さくら」です。元気に走り回るところがかわいかったです。大変だったけど、またうさぎさんの世話をしたいなあ。



どんぐりを使って



樋口 尚輝さん（2年）

使っている材料は、山などに行って自分たちでとってきたものです。大きなどんぐりがとれてうれしかったです。リースは、1・2年生で育てたあさがあと、みんなで育てたさつまいものつるで出来ています。



ジュニア芸術祭



親子の似顔絵



本山 祐さん（3年）

お母さんと向かい合って、お互いの顔を描きました。きれいなお母さんが描けたと思います。お母さんは優しく大好きです。作ってくれる料理もみんなおいしいよ。これからも仕事をがんばってね！



弥生さんへ



高澤 郁也さん（4年）

顔のパーツの位置が難しかったけど、目や鼻すじがうまく描けました。向かい合って描くのは最初は緊張したけど楽しかったし、自分の顔を描いてもらってうれしかったです。これからもよろしくお願いします！



ミラクル小物入れ



保坂 岳旭さん（5年）

小物や本を収納できて、ふたを開けると鏡も付いています。くぎをうまく打つのに苦労しました。一番気に入っているのは、自分好みの色合いに塗れたところです。家に持って帰ったら実際に使う…かな？



カラフルボックス



竹内 芽育さん（6年）

お母さんに注意されることがあるので、自分の学習机を整理するために作りました。とにかくカラフルにして好きなキャラクターも描きました。このボックスがあれば、机もきっときれいになります。

31

浦田小学校